

子育て環境日本一丹後推進会議 あったか子育てニュースレター

第3号

発行：令和5年6月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：丹後広域振興局)

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。本号は、子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言企業の株式会社アウルコーポレーション代表取締役社長の沖田真奈美さんに取組等についてインタビューをしました。同社は、夕日ヶ浦地域をはじめとする8軒の旅館・ホテルを運営されており、宿泊業の特徴に合わせた、子育てにやさしい職場づくりを展開されています。



子育てにやさしい職場づくりの取組紹介 「株式会社アウルコーポレーション」



所在地：京丹後市網野町木津253
設立：昭和43年
従業員：250名
業種：観光・宿泊
電話：0772-74-9018

■「誰もが、安心して働き続けられる環境を整えたい」

一 子育てにやさしい職場づくりに取り組まれている背景を教えてくださいませんか？

宿泊業の勤務形態上、労働時間が不規則になりがちで、子育て世代にとっては育児との両立が厳しく、出産・子育てを機に退職してしまう人もいるのが現状です。当社は従業員の約7割が女性であり、特に子育て世代でもある中堅層の女性は、きめ細やかな心遣いができ、会社にとっても大きな戦力です。子育てを理由に離職することなく、安心して働き続けられる環境を整えたいと思い、子育てにやさしい職場づくりに取り組んでいます。



様々な部署・時間帯の勤務を相談

■宿泊業ならではの課題に対応するために、企業内託児所を設立予定

一 具体的にはどのような取組を展開されていますか？

希望に応じてリモート勤務を実施しています。接客がメインの業種なので、限定的ではありますが、宿泊商品の企画などは完全リモート勤務で行ったりもしていて、中には、他府県の地元に戻り、子育てをしながら働いている社員もいます。

一 宿泊業ならではの取組などあれば、お聞かせいただけますか？

社員の健康づくりのために、厨房スタッフが作る社食を1食200円で提供しており、「厨房スタッフが作る料理は美味しい」と従業員からも好評です。健康に良いものをたくさん食べて、元気に働くことが、安心して働ける環境づくりにもつながると思います。また、宿泊業の働き方に合わせた保育の充実にも力を入れていきたいと考えています。会社付近の保育施設は、夜間保育や日曜保育を行っていないこともあるので、そういった課題を解決するために、柔軟な保育を企業側で提供する試みを現在進めています。



事業開始予定の保育施設

一 今後に向けて考えておられること等あれば、教えてください。

子育て世代にやさしい職場づくりをすることは、他の従業員の働きやすさにもつながり人材確保の観点からも非常に重要なことだと考えています。地域一体となって、夕日ヶ浦地域が子育てにやさしい街になり、発展していくことを目指したいです。